



落合 康之 議員

## 茨城県知事選挙について

**問** 針谷市長が大井川候補と結んだ8項目の政策協定の中身は何か。また、県立文化ホールの要望は行ったのか。

**答（市長）** 8項目の政策協定は①政策協議の場の設置。②各分野の振興施策の充実、人材を活用した地域経済活性化の推進。③行財政改革の推進。④保健、医療、福祉体制充実のための人材確保。⑤子供たちの学力向上

や文化の振興、郷土を愛する心を育む人材の育成。⑥少子化対策の推進。⑦防災、治安体制の強化。⑧茨城の魅力を発信するための施策の強化である。

県立文化ホールの要望は、県の計画、近隣市町との調整がない中での要望は困難であるため具体的な協議は行っていない。

**再質問** 市長が協定をされてきた5項目目に「文化振興」という言葉が入っていた。古河市に県立文化ホールの設置を要望する提案を全議員の署名をいただき、つくってある。議員は市民の代表であり、与党も野党もなく24名全会一致となっていることは、市長は市民の要望があれば考えると選挙の時の公約にしていたので、大井川氏にお話

をすることは可能であると思う。

**答（市長）** 市長として施策の具体的な内容について要望、要求等を行うことは可能である。

**再々質問** 第4の協定項目にある、医療に関して医科大学の誘致・新設をご検討いただきたい。

**答（市長）** 具体的な政策が大井川氏から出た時点で古河市も候補地として手を挙げ、できる限りのことを行いたい。



秋庭 繁 議員

## 県内市町村で最低の投票率

**問** 期日前投票所の便利な駅前からの変更、時間も短いことが低投票率の招いたのではないか。

**答（選挙管理委員会書記長）** 投票率は、選挙人が投票しやすい環境なども大きく影響を与える。選挙管理委員会において方策等を検討し、投票率アップに向けて努力したい。

## 古河の「森友・加計学園」問題

**問** 利用計画のない中学校給食調理場跡地の土地購入に至った経緯は非常に疑問である。土の入れ替えなどが必要なら、きちんと処理し、市が買わずに後年度負担としないほうが賢明である。その後の維持管理費を含め、市のファシリティマネジメントの観点からも本末転倒ではないか。



無駄遣いの給食調理場跡地購入

**答（市長）** 土地購入については、

これまでの経緯等を自分なりに判断し、購入を決定した。近くでグラウンドゴルフ場や、バスケットコート等いろいろな要望が来ているので、市民の要望をかなえる一つとして、検討していきたい。

## 値上がりが危惧される国民健康保険税

**問** 来年4月から国民健康保険の運営が県へ移管されるが、どのような運営主体となるのか。

**答（生活安全部長）** 運営主体については、財政運営は県が主体、市は引き続き資格管理、保険給付等の地域における細かい事業を担い、県と市が協働して運営主体となり、制度の安定化を図っていく。